令和４年度全国学力・学習状況調査　教科における学習内容の定着状況の概要（廿日市市版）

小学校算数

○正答率の状況（%）

	Ｒ４	Ｒ３
廿日市市	６５．０	７３．０
広島県	６４．０	７０．０
全国（公立）	６３．２	７０．２

正答率 60%以上の設問（上位２問）

□　１０５０×４を計算する。
　＜設問　１（１）＞　　９３．０%

□　長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く。
　＜設問　４（２）＞　　８６．５%

正答率 60%未満の設問（下位２問）

■　果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。
　＜設問　２（３）＞　　２０．４%

■　８５×２１の答えが１４７０より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。
　＜設問　１（４）＞　　３２．５%

広島県との差が大きかった設問（下位２問）

■　果汁が２５%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す。
　＜設問　２（１）＞　　－２．５ポイント　（廿日市市　６８．５%、広島県　７１．０%）

■　１年生と６年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ。
　＜設問　３（３）＞　　－０．１ポイント　（廿日市市　６６．６%、広島県　６６．７%）

正答率の状況から見取った課題

＜全体的な傾向＞【領域】Ｃ変化と関係　【評価の観点】思考・判断・表現　【問題形式】選択式に課題がある。

①数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、伴って変わる二つの数量の関係について考察することに課題がある。　【Ｃ変化と関係】

②日常生活の事象について、目的に応じて、必要なデータを収集し、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目して考察することに課題がある。　【Ｄデータの活用】

課題に対する手立て・学習指導の工夫・授業改善のポイント等

○　日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解させる。

日常の具体的な場面に対応させるとは？

＜設問２（３）＞の場合　りんごの果汁が２０%ふくまれている飲み物。

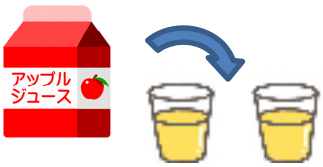
２０%（割合）は、何を表しているか？　→　**りんごの果汁（味）の濃さ**【子どもに分かる言葉で】

「２０%より５０%のジュースの方が、りんごの味が濃い。１０%だと薄くなる。それならば、お店で見かける果汁１００%のジュースは、りんごの味そのもの！」という具合に、具体的な場面を通して理解させる。

このような理解をしていれば・・・

５００ｍＬの飲み物を２人で等しく分けると、１人分は２５０ｍＬになる。
このとき、飲み物に含まれる果汁の割合は１／２？　２倍？　変わらない？

果汁２０%（割合）⇒りんごの味の濃さ



２つに分けたら、味は変わる？

「味は、変わらない。（濃さは変わらない。）」

↓

「味が変わらないということは、**割合は変わらない。**」

問題場面の具体的なイメージをもたせる工夫を取り入れませんか！

第５学年「割合」Ｐ１７８ ③

定員が５０人のバスがあります。
いま、バスには４２人の乗客がいます。
乗客の数は、定員の何%にあたりますか。

当然わかっていると決めつけずに・・・
・定員は、どういう意味だろう？
・乗客は、どういう意味だろう？　語句の理解

定員＝乗り物に乗ることができる最大の人数。
「どんなにたくさん乗っても、５０人までなんだね。」

見積もりにもつながる

乗客＝乗り物に乗っている人。
「最大５０人乗れるバスに４２人乗っているんだね。」「**けっこうたくさん乗ってるね。**」

第５学年「割合」Ｐ１７９ 5

あきらさんの学校のしき地は８０００㎡で、しき地全体の６０%が運動場です。
運動場の面積は何㎡ですか。

単なる計算で終わらせないために・・・
・８０００㎡って、そもそもどれくらいの広さ？
・６０%って、どれくらいの広さ？

＜イメージをもたせる「やり取り」＞

「**うちの学校のしき地は、１５０００㎡**だよ。あきらさんの学校は、広い？せまい？」　補足情報

「６０%ってことは、**半分（５０%）より**広い？せまい？」　見積もり

日常の具体的な場面に結び付けながら、問題解決をしなければ、学んだことを実際の生活の中で活用することはできません。ぜひ、具体的なイメージがもてるような指導を！→ＩＣＴの効果的な活用を！（低学年段階では、具体物を使った操作活動等の方が効果的な場合もある）